



Title	本研究会の活動（2009年10月～2010年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2010, 47, p. 52-52
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67614
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

本研究会の活動（2009年10月～2010年3月）

第214回 10月31日（土）

『古今集』における「事」

—仮名序「ことの心」を視座に—

入内屏風和歌享受の位相

—中世勅撰集において—

坂本 正博

細川知佐子

野上 潤一

野上 潤一

野上 潤一

内部徵証による『太平記鈔』日性編者説の再検討

—「太平記鈔」生成の一端と法華宗僧の学問の一隅をめぐつて—

野上 潤一

与謝野晶子の短歌に投影した『源氏物語』
—「薪こり菜摘み水汲み」の歌の場合—

『南朝公卿補任』の史料性

宮本 正章

勢田 道生

宮本 正章

勢田 道生

『太平記鈔』『徒然草寿命院抄』と『謡抄』

—謡曲註釈の利用と中世最末期の学問の一隅をめぐつて—

野上 潤一

野上 潤一

第216回 12月12日（土）

『とはずがたり』の後深草院

—卷四「人目にも、「こはいかに」などおぼゆる御もてなし
もなく」の解釈をめぐって—

高嶋 藍

高嶋 藍

高嶋 藍

高嶋 藍

第217回 1月30日（土）

『讀岐典侍日記』下巻考

—香隆寺參詣記事を手がかりとして—

丹下 暖子

丹下 暖子

丹下 暖子

丹下 暖子

丹下 暖子

丹下 暖子

『伊勢物語愚見抄』が捉える〈昔物語の本意〉

木下 美佳

木下 美佳

木下 美佳